

## JOMF 派遣医師便り (2015. 6)

### ◆マニラ◆

夏です！ マニラはインフルエンザ流行の季節をむかえます。

#### マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

この記事が掲載される時期、日本では夏真っ盛りですがマニラではインフルエンザが流行する時期が間近に近づいています。毎年今の時期に啓発の意味を込めて書いていますが、最近のマニラ日本人社会においては例年 8-9 月にインフルエンザが流行しています。

なぜ真夏なのにインフルエンザが流行するのでしょうか。日本のような温帯地域では「インフルエンザは冬の乾燥した時期に流行しやすい」と言われています。「低温、低湿度の方がインフルエンザウイルスの活動性は活発である」というのが理由の一つとして考えられています。しかしフィリピンを含む北半球の熱帯・亜熱帯地域では「インフルエンザの流行は雨季（日本の夏）に起こりやすい」ことが分かっています。

“流行”にかかわる因子として“人の移動”や“集団形成”が関わっているとも言われています。たとえば一時帰国や学生等のいっせいに起こる移動です。マニラ日本人社会では例年 8 月終わりから 9 月にかけて、新学期が始まった頃に幼稚園・学校や会社で患者数の急激な増加が見られています。

インフルエンザの症状で“マニラ特有の症状”があるわけではありませんが、多くは“突然の発熱”で発症しています。フィリピンではデング熱や腸チフス、レプトスピラ症などの鑑別診断も考えないといけません。

インフルエンザは一般の風邪より重症感が強く、治療をしなければ高熱が 5 日前後続き、回復までに 1 週間から 10 日かかっています。肺炎に進行し入院加療を余儀なくされる場合もあります。診断を受けた後は十分な静養をとることが大切です。

インフルエンザは何よりも予防が大切です。普段からの体調コントロールを整えるとともに手洗いやワクチンの接種なども大切です。患者さんはマスクをするなどの「咳エチケット」にもご協力ください。

夏真っ盛り、インフルエンザの感染にも十分に気を付けて、皆様どうぞお元気でお過ごしください。